

教 科 名	科 目 名	履 修 学 年	履 修 区 分	単 位 数
地理歴史	歴史総合	1年 一般コース	必修	2

目 標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
教 科 書	『歴史総合』(実教出版)
副 教 材	『歴史総合 演習ノート』(実教出版)
授 業 形 態	講義形式を中心にプレゼンテーションなども取り入れ、多彩な授業を行う。基礎的・基本的な知識を身に着けることはもちろん、ICTを活用して自分たちで調べたり、ノートの整理を行ったりして知識の定着を図る。
評 価 規 準	<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 <p>〈思考力、判断力、表現力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 <p>〈学びに向かう力、人間性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 方 法	定期試験、小テスト、中テストの結果を中心とした評価に授業への取り組み方(態度・忘れ物・発表・提出物)を考慮して総合的に評価する。
学習上の留意点	<p>授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表などをしっかりとその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。</p> <p>歴史総合では、関係のない遠い過去のことを暗記する科目ではなく、問い合わせ、探究する科目である。この授業で世界や日本の歴史の片鱗を学び、そのおもしろさを感じてほしい。</p>

授業計画及び試験計画[1年：歴総合 一般コース]